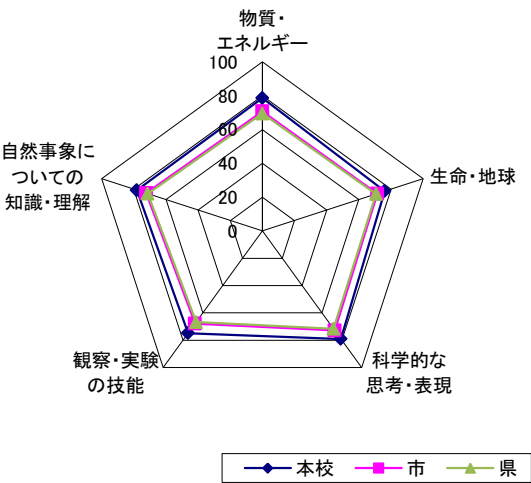


宇都宮市立石井小学校第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	78.6	70.8	69.5
	生命・地球	76.1	71.5	70.8
観点	科学的な思考・表現	79.0	72.8	71.7
	観察・実験の技能	74.8	67.8	66.8
	自然事象についての知識・理解	78.1	72.3	71.4



★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	○光電池の光の当たり方と電気を起こすはたらきの関係をよく理解している。 ○空気や水や金属は温めたとときに体積が変化すること、またその温まり方等を正しく理解している。 ○アルコールランプの安全な使い方についてよく理解している。 ●水が氷になると体積が増えること、教室の上の方と下の方の温度の違いが熱せられた空気の移動によるものであることを説明することがまだ十分にできていない児童がいる。	・水が凍るときに体積が増えることについては、実際に冬にペットボトル等のプラスチック容器に水を入れ凍らせる実験を通して実感させるようにする。 ・空気の温まり方については可視化が難しいが、家庭科でご飯やみそ汁をつくる学習の際、湯気が上がって天井の方にたまる様子に注目させる等、生活の中で実感できるよう配慮する。
生命・地球	○1日の気温の変化から天気を推測することが正しくできている。 ○コップの表面につく水滴は、空気中の水蒸気が冷やされてできたこと等をよく理解している。 ○星が時間の経過によって位置が変わること、星の明るさと色は様々であること等もよく理解している。 ●方位磁針を使って月の方角を正しく調べることや、1か月の間に月の形がどのように変化するかについての理解がまだ不十分な児童がいる。	・方位磁針の使い方については太陽の方角を調べることを通して再度確認するようにする。 ・月の見かけの形の変化については、半分だけ黒く塗ったバレーボール等、月の模型になるものを持った教師が児童の周りをゆっくり回るなどの実験を行い、光が当たっている部分の見かけの形が変わっていくことを確認し、理解させる。